

認知症の医療と生活の質を高める緊急プロジェクト

第5回 (H22. 9. 17)

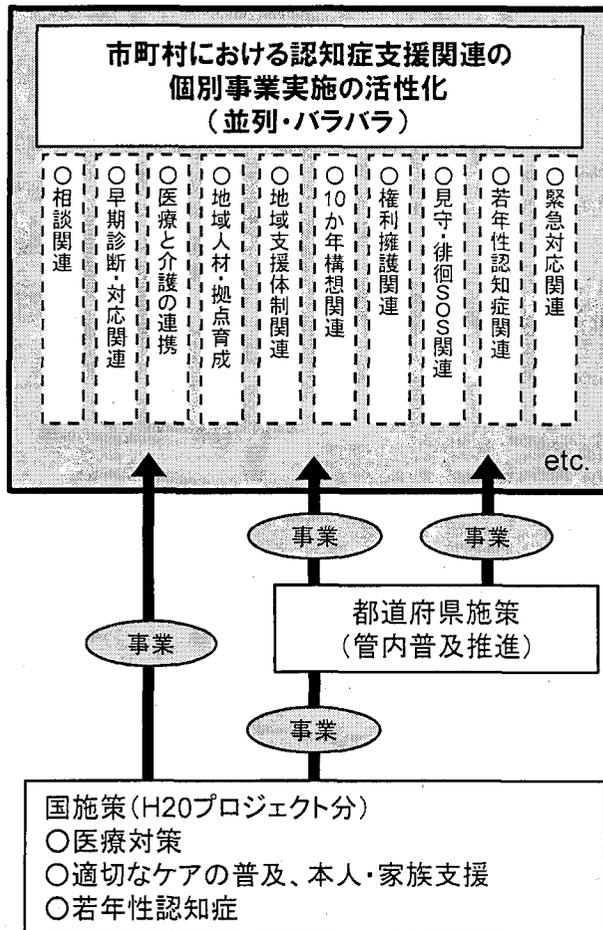
永田委員提出資料

永田委員提出資料

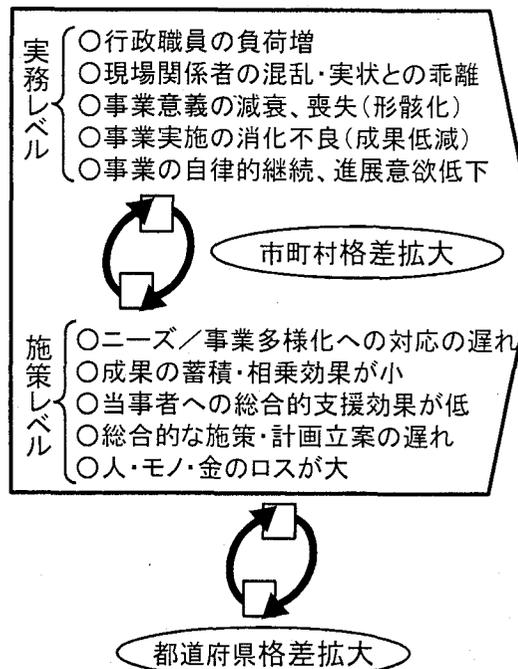
緊急プロジェクト 再開にのぞんで ～認知症の医療と生活の質に関する施策効果向上に向けて～

- ①H20プロジェクト報告の「当面の対策」に関する国施策の展開により、都道府県・市町村における認知症地域支援関連の取組みが活性化しつつある(資料1)。一方、活性化にともない、個別事業が並列的・バラバラに展開される状況が拡大している実態がある。
- ②その結果、自治体の実務レベル、施策レベルでさまざまな課題が顕在化し、自治体間格差が拡大している(資料2)。
- ③国として、これらの課題解決と市町村の認知症支援地域力の向上を積極的に図っていく必要がある。そのためには、市町村による地域実状把握と事業マネジメントに基づく、関連事業の一体展開を推進する「しかけ」づくりが重要である(資料3)。
今後、認知症の医療と生活の質を高め、認知症総合対策を市町村の実情に即して円滑に進めていくために、本プロジェクトとして、施策効果向上に関する「しかけ」について提起していくことが必要と考えられる。

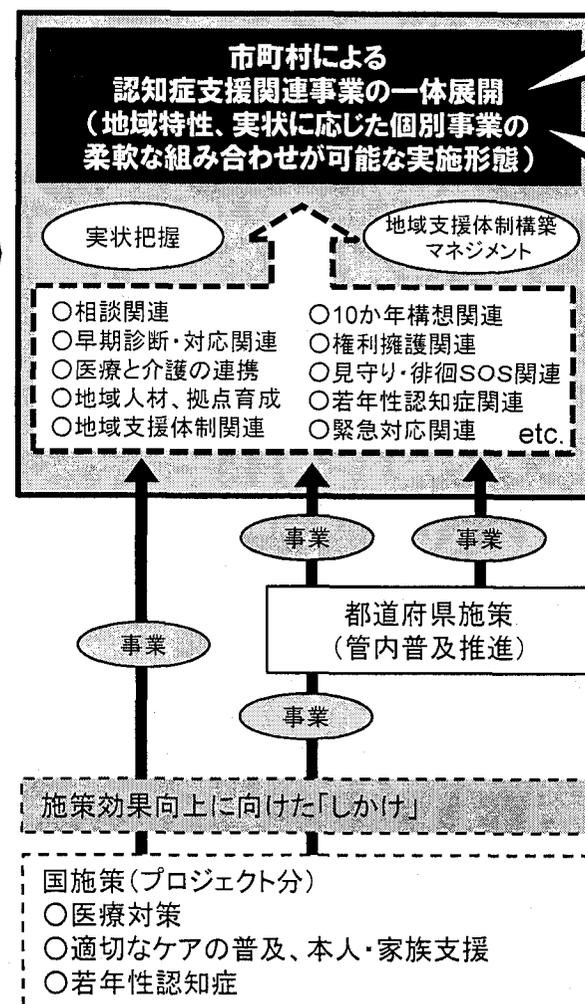
<①現状>



<②現状の課題>



<③課題解決と市町村の認知症支援地域力の向上>



当事者に総合的な支援として効率的に行き届くために。

認知症支援関連事業の効率的、持続的進展のために。

資料1：「認知症地域支援体制構築等推進事業」実施市町村における事業実施前・後の地域支援体制整備状況の変化

出典：「自治体における認知症地域支援体制構築の効果的推進に関する研究」報告書（平成21年3月，認知症介護研究・研修東京センター）

(N=59)

①地域基盤づくりに関して

			事業実施前	事業実施後
I 地域 基盤 づく り	1. ビジョンづくり	(1)ビジョンの検討	23.7%	89.8%
		(2)行政内部や事業関係者へのビジョンの浸透	10.2%	76.3%
	2. 認知症地域支援体制づくりにむけた総合的な企画	(3)事業全体を一体的に進めるための総合的な企画立案	11.9%	78.0%
		(4)行政内部、事業関係者への事業の企画の浸透	6.8%	83.1%
	3. 推進組織づくり	(5)コアチームの結成(事業を推進していく上で、中心になって企画したり、運営するチーム)	10.2%	84.7%
		(6)関係部署や関係組織への働きかけ・調整	10.2%	78.0%
	4. コーディネーターの配置と活用	(7)地域支援体制づくりをコーディネートしたり推進する人材の選定・配置	11.9%	91.5%
		(8)コーディネーターの活躍の推進・活躍するための条件整備	6.8%	57.6%
	5. 実態把握	(9)モデル地域の認知症高齢者に関する実態把握	20.3%	78.0%
		(10)認知症地域支援に関する資源・活動等の把握	16.9%	71.2%
	6. ネットワークの基礎づくり	(11)地域の多様な関係者が認知症地域支援の必要性について一緒に学ぶ機会づくり	18.6%	81.4%
		(12)多様な関係者が参画して地域支援を推進する組織づくり/活動支援	13.6%	62.7%
	7. 拠点づくり	(13)地域、近隣で認知症ケア、地域支援を推進していく拠点となる場づくりとその支援	22.0%	47.5%
		(14)地域拠点での活動推進とその支援	16.9%	37.3%

②個別事業に関して

			事業実施前	事業実施後
Ⅱ 地域 支援 体制 構築 に む け た 各 事 業	1. 地域資源マップ	(15)認知症支援に関係する地域資源のリスト化	8.5%	84.7%
		(16)資源マップの作成	5.1%	88.1%
		(17)資源マップを活かしたネットワーク作りの推進	1.7%	55.9%
	2. 認知症ケア等のサポート	(18)コーディネーターを活かした地域での相談・支援・検討会等の実施	13.6%	67.8%
		(19)地域資源を活かした地域での相談・支援・検討会等の実施	22.0%	62.7%
	3. 徘徊SOSネットワークの構築	(20)徘徊・行方不明の現状・課題の把握	13.6%	62.7%
		(21)地域資源を活かした徘徊SOSネットワークの整備	16.9%	66.1%
		(22)模擬訓練の実施	3.4%	30.5%
	4. 見守りネットワークの構築	(23)地域資源を活かした見守りネットワークの整備	25.4%	74.6%
		(24)地域の多様なネットワーク(町づくり、子供、防犯、災害等)との連動	11.9%	47.5%
	5. もの忘れ相談の実施	(25)地域資源を活かした早期の相談体制づくり	23.7%	66.1%
		(26)相談者を地域で継続的に支援するための仕組みづくり	18.6%	45.8%
	6. 認知症の本人や家族のネットワーク支援	(27)認知症の本人や家族のネットワーク支援	23.7%	69.5%
	7. センター方式を活かした事例検討会	(28)センター方式を活かした事例検討会	13.6%	50.8%
(29)本事業に関する情報発信			0.0%	64.4%

資料2：自治体における認知症地域支援関連の取組みの実態（取組み格差）

出典：「認知症地域支援体制づくり推進に関する都道府県現況調査結果」速報版【N=36】（平成22年8月，認知症介護研究・研修東京センター）

●管内市町村の認知症地域支援体制づくりの取組みの現状

全市区町村が取り組んでいる	22.2%
半数以上の市区町村が取り組んでいる	16.7%
4分の1以上の市区町村が取り組んでいる	5.6%
4分の1未満の市区町村が取り組んでいる	19.4%
把握していない	36.1%
計	100.0%

●都道府県における管内市町村の認知症地域支援体制づくりの成果の把握・集約について（複数回答）

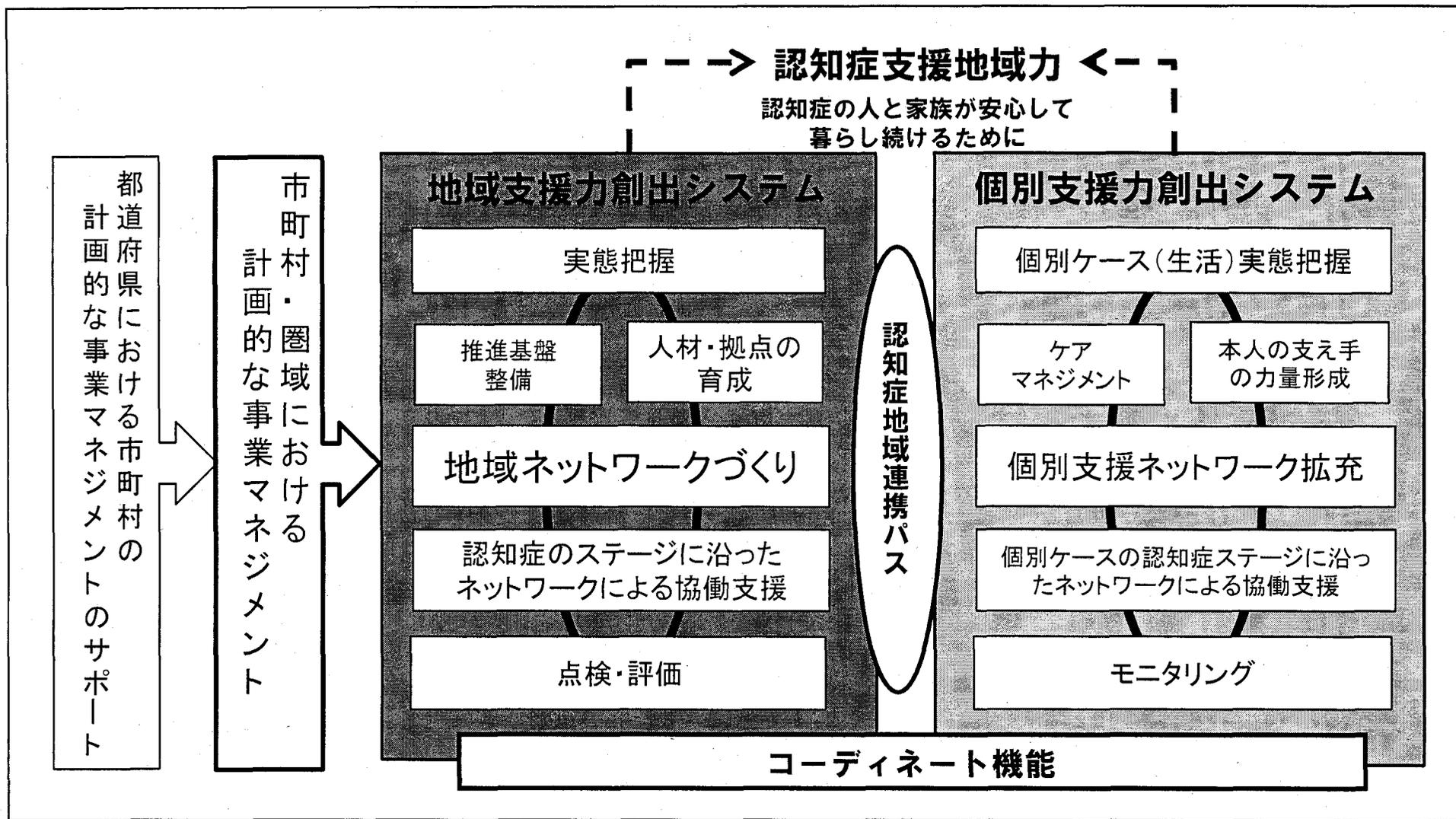
市区町村が取り組んだ成果を把握している	27.8%
把握した成果を、他の市区町村が活かしていけるよう集約している	36.1%
成果の把握・集約は特に行っていない	38.9%

●都道府県における管内市区町村の認知症地域支援体制づくりの課題の把握・分析について（複数回答）

市区町村の取組みにおける課題を把握している	27.8%
把握した課題を都道府県として、今後の市区町村支援に活かすための分析・検討を行っている	13.9%
課題の把握・分析は特に行っていない	61.1%

●都道府県による各市区町村の認知症コーディネーター等の養成や力量向上を図るための支援

平成21年度に実施	11.1%
平成22年度実施(予定)	16.7%
平成22年度実施を検討中	5.6%
なし	66.7%
計	100.0%



国：自治体の認知症支援地域力向上を推進するためのしかけづくり
～ 施策効果向上に向けて ～